

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：食用ナバナの品種と播種期が収量特性等に及ぼす影響の解明			
<p>[要約] 食用ナバナの栽培では、11月に多く収穫したい場合は「春華」の9月上旬播種、12月は「花かんざし」の9月上旬播種、3月は「花まつり」及び「華の舞」の播種が適した。「栄華」、「華の舞」、「花娘」、「花まつり」は11月から3月の合計上物収量が多く、「花かんざし」、「花まつり」は上物率が高く、「花飾り」は1本あたりの重さが重い。</p>			
キーワード	食用ナバナ、品種、播種期、栽培、収量		
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・暖地園芸研究所・野菜メロン研究室 協力機関 JA 安房、安房農林振興センター		
実施期間	2007年度～2008年度		

[目的及び背景]

千葉県の実験的な食用ナバナ産地では、主要栽培品種が7～8品種あり、栽培品種の違いが市場出荷物の品質が揃わない原因の一つとなっている。また、新品種については特性を把握できていない現状がある。

そこで、主要な品種について、播種期を変えて収穫期間や収量等の調査を行い品種特性を解明し、栽培時期に合った品種を選定し、出荷物の品質の統一を図るための資料とする。

[成果内容]

- 1 11月に多く収穫する場合には「春華」の9月13日播種、12月では「花かんざし」の9月13日播種が適する。1月及び2月では供試した多くの品種が多収量となり、3月に多く収穫する場合は「花まつり」が最も適し、次いで「華の舞」が適する。
- 2 「春華」は花蕾の色（データ略）と収量から、播種は9月上旬までが適当である。「健康」は花腐れの発生が多く花蕾が大きく色も淡いため、市場出荷には適さない。「花娘」及び「88号」は、葉色、花蕾の色が淡い（データ略）。「花かんざし」及び「花まつり」は上物率が高い。
- 3 「栄華」、「華の舞」、9月13日播種を除いた「花娘」、「花まつり」は11月～3月の合計上物収量が多い。
- 4 「花飾り」は全ての播種期において、1本あたりの重量が重く、1束に入れる本数が少なくて済む品種と考えられる。
- 5 以上の結果から、11月に多く収穫したい場合は「春華」、12月の場合には「花かんざし」、3月は「花まつり」及び「華の舞」が適している。なお、「栄華」、「華の舞」、「花娘」、「花まつり」は合計上物収量が多く、「花かんざし」、「花まつり」は上物率が高く、「花飾り」は1本あたりの重さが重い。

[留意事項] 根こぶ病多発圃場では、抵抗性のない「花飾り」、「88号」の栽培は避ける

[普及対象地域] 県内全域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 品種及び播種期別の時期別収量等（平成19年度試験結果）

品種・播種時期	可販物の 収穫期間	上物収量 (kg/10a)					合計	上物率 (%)	平均 1本重 (g)
		11月	12月	1月	2月	3月			
9月13日播種									
春華	11/8～1/18	299	238	76	0	0	612	77.2	11.4
健康	11/19～2/19	84	322	262	18	0	686	63.2	17.5
花かんざし	11/22～1/21	94	451	136	0	0	681	94.5	16.0
花飾り	11/29～3/3	8	209	373	166	55	811	81.5	19.4
花娘	11/26～3/3	31	247	298	124	83	782	70.4	18.7
88号	11/29～3/3	14	152	343	166	48	722	85.4	19.8
栄華	12/3～3/3	0	219	592	135	85	1,032	87.3	21.5
春山	11/12～2/25	26	271	304	119	0	720	69.8	17.2
華の舞	12/10～3/25	0	67	644	219	535	1,466	77.4	13.9
9月25日播種									
春華	11/26～2/13	46	339	108	24	0	517	78.8	12.7
健康	12/3～2/19	0	318	300	86	0	704	75.2	22.0
花かんざし	12/3～2/19	0	134	545	81	0	760	94.2	19.7
花飾り	12/3～3/3	0	124	380	204	94	801	78.5	23.7
花娘	12/13～3/25	0	178	405	230	498	1,311	80.8	15.7
88号	12/21～3/25	0	28	231	340	277	877	70.4	13.8
栄華	12/13～3/25	0	170	642	153	442	1,407	88.0	17.1
華の舞	1/4～3/25	0	0	325	675	578	1,578	87.3	12.9
花まつり	1/21～3/25	0	0	60	143	889	1,092	96.9	9.7
10月3日播種									
春華	12/6～2/19	0	204	312	42	0	559	92.5	14.8
健康	12/17～2/19	0	109	458	95	0	662	81.9	24.0
花かんざし	12/25～3/3	0	114	421	193	76	804	92.7	19.3
花飾り	12/25～3/3	0	73	262	191	125	651	77.1	21.2
花娘	12/21～3/25	0	25	301	357	524	1,207	85.9	13.3
88号	12/27～3/25	0	55	156	216	420	847	78.3	12.6
栄華	12/27～3/25	0	72	383	503	503	1,461	86.6	15.9
花まつり	2/13～3/25	0	0	0	127	938	1,065	98.3	10.0

- 注1) 1区40株のうち10株について調査を行い、10aに換算した。反復なし
 2) 栽植密度は、畦幅100cm、通路50cm、株間30cmの2条植え(4,444株/10a)
 3) 栽培は根こぶ病発生ほ場で、ネビジン粉剤を使用して行った
 4) 肥料の成分量は10aあたり 窒素30.8kg、リン酸25.4kg、加里29kg
 (9月13日播種の「春華」、「健康」、「花かんざし」は 窒素26kg、リン酸22.4kg、加里24.8kg)
 5) 頂花蕾も収量に含めた
 6) 重量は収穫物を12cmの長さで切り、下から1cmの茎に付いた葉は除去して測定した
 7) 上物率は総収穫重量(上物重量+下物重量)に対する上物重量の割合(%)
 8) 表の中の太字は収量または上物率が高い、平均1本重が重いものを示す

[発表及び関連文献] 平成20年度試験研究成果発表会(野菜部門4)

[その他] 平成18年度試験研究要望課題(提起機関:安房農林振興センター)